

ふくやま地域づくり塾レポート 第1号

発行/2020年(令和2年)7月

第1回テーマ

まちづくり推進委員会(広域コミュニティ)の役割を考える

今年度の「ふくやま地域づくり塾」(全3回の連続講座)が2020年(令和2年)7月12日(日)からスタートしました!!

この「ふくやま地域づくり塾」は、福山市持続可能な地域コミュニティ形成に関する政策アドバイザーの櫻井常矢教授(高崎経済大学)を講師に、「地域づくり」の学びを深め、地域における活動や組織のあり方を振り返り、これからの地域づくりを考えることを目的に開催しています。

第1回は、講義を通じて、少子高齢化・人口減少が進むことで多くの新たな地域課題が生まれている現状を認識し、そういう時代だからこそ、「地域のくらしを支えるため(地域の課題を解決するため)」に地域づくりが必要であること、そして各地の事例を踏まえながら広域コミュニティの大切さを学びました。

その後のグループワークでは、地域を取り巻く様々な課題を、客観的に整理しました。

次回(8月2日)は「地域の事業活動を分析する」をテーマに、議論をより深めていきます。

◆グループワークを通じて見えてきたポイント

- ①まちづくり推進委員会(広域コミュニティ)の役割を理解している人が少ない
- ②地域課題を解決するには他団体との連携や広域でつながる必要がある
- ③他団体と連携するために「できること」「できないこと」の整理が大切



まちづくり推進委員会を生かし切れていない



※今年度の塾は新型コロナウイルス感染症対策のため、適切な感染防止策を講ずるとともに、22人(1学区(町)から2名の参加)の少人数で開催しています。

塾生の声(アンケートより)

【受講後の気づきや感想を教えてください。】

- ・町内会の皆さんが生き生きと活動するために、「なぜ、今地域づくりなのか」「地域のくらしを支えることはどういうことなのか」を原点に戻って考える事は、いい機会だと思いました。
- ・「地域づくりの意味」、「まちづくり推進委員会の必要性」がわかりました。
- ・他学区の意見や考え方、やり方が学べた。今までどおりの事業を維持することだけが「正」ではない。

【塾での気づきや学びを自分の地域でどのように生かしていきたいですか。】

- ・まずはいろんな団体や、人との対話を通じて、知ることが必要。それぞれの「できること」「できないこと」を把握し、根気強く継続していけるよう行動したい。
- ・学んだことを伝え、役員で議論し、できることから取り組んでいきたい。有名無実のまちづくり推進委員会にならないように。

【問合せ先】 福山市 市民局 まちづくり推進部 協働のまちづくり課
〒720-0056 福山市本町1番35号 電話 084-928-1051